

あ き
一般国道55号 安芸道路

事業再評価

(要点審議)

平成29年12月5日



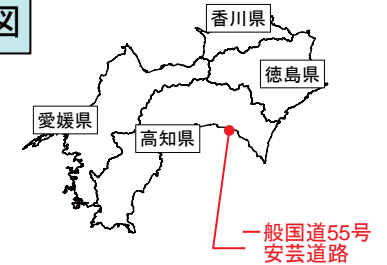
国土交通省四国地方整備局

一般国道55号 安芸道路

事業の目的

四国8の字ネットワークを形成する阿南安芸自動車道の一部であり、高知東部自動車道と接続して四国東南部における規格の高い信頼性のあるネットワークを形成し、高知県東部広域交流の促進及び地域の活性化を図るほか、災害時における緊急輸送道路の確保や第三次医療施設への速達性向上、安芸市内部の日常的な交通渋滞の解消を目的とする地域高規格道路である。

位置図



平面図

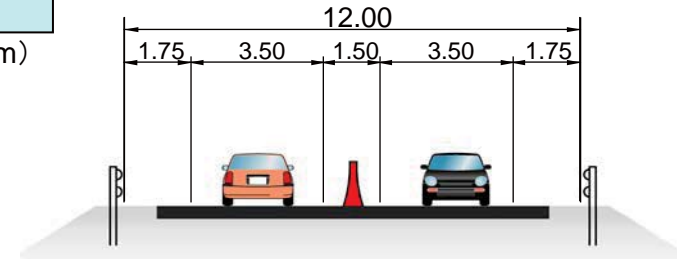


事業計画等

- 事業着手 : 平成24年度
- 整備区間 : 高知県安芸市伊尾木～高知県安芸市馬ノ丁
- 事業延長 : 5.8km (開通済0km)
- 標準幅員 : 12.0m (完成2車線)
- 構造規格 : 第1種第3級(自動車専用道路)

標準断面図

(単位:m)



費用対効果分析結果

- 全体事業費 : 252億円 (前回(H26)再評価時:252億円)
- 計画交通量 : 7,100～9,900台/日 (H26再評価時)
- 費用便益比 : 事業全体1.5、残事業1.6 (H26再評価時)

主な事業効果等

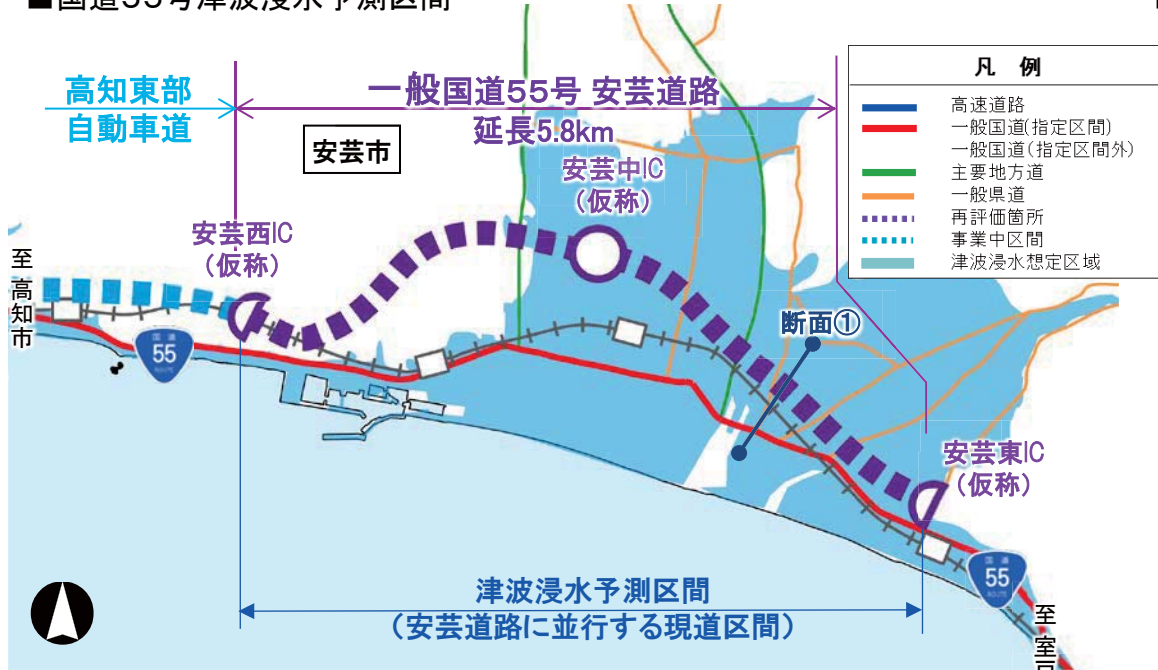
- 安芸市内の慢性的な渋滞の緩和。
- 地域産業の活性化支援。
- 第三次医療施設までの速達性の向上。
- 南海トラフ地震などの災害発生時における緊急輸送道路の確保。

一般国道55号 安芸道路

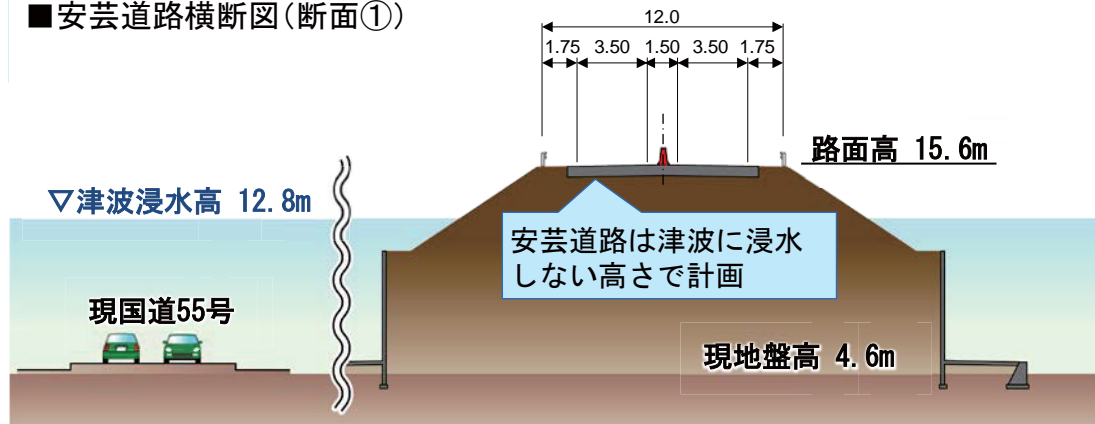
整備効果事例

- 高知県東部地域は、南海トラフ地震による強い揺れや津波により甚大な被害が想定されている。
- 第1次緊急輸送道路である国道55号(現道)は、南海トラフ地震発生時の津波浸水により通行不能が懸念される。
- 安芸道路の整備により、津波浸水を回避し、災害時における安全性・信頼性を確保する。

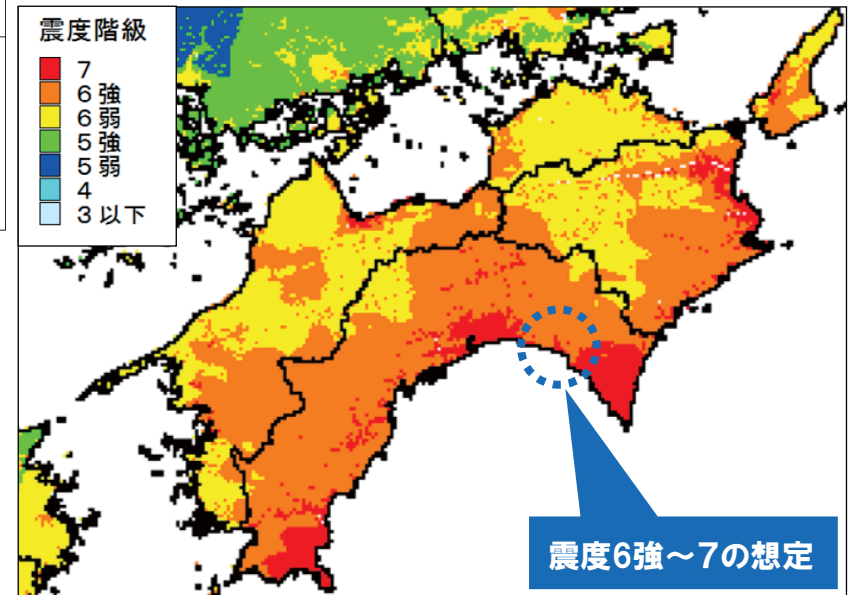
■国道55号津波浸水予測区間



■安芸道路横断面図(断面①)



■想定地震における最大震度図



資料) H25. 5. 28中央防災会議・防災対策推進検討会議・南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ「南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)」

国道55号は津波浸水エリアを通過しており津波により、国道55号の通行が阻害された場合、安芸市や室戸市へのアクセスが困難となる

資料) 南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について (H24. 12. 10 高知県公表) の津波浸水予測図を基に作成

一般国道55号 安芸道路

前回再評価時からの事業進捗見込み等の変化

- 事業進捗率は**約4%** H29.3末(前回約2% H26.3末)
- 用地進捗率は**約1%** H29.3末(前回約0% H26.3末)
- 全区間の早期開通を目指し、調査・設計、**用地買収**を推進中

地域から頂いた主な意見等

- 高知県安芸市議会、四国8の字ネットワーク整備促進東南部連盟、四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている

H27.4,6,11,12 、 H28.2,4,7,10,11,12 、 H29.1,2,4,7,8

県知事の意見

- 事業継続に異議はありません。

四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号安芸道路は、県中央部と東部地域とをつなぐ唯一の幹線道路の代替機能を担い、南海トラフ地震などの大規模災害発生時の着実で円滑な支援物資の輸送などや、中芸地域の日本遺産をはじめとする貴重な観光資源を活かした交流人口の拡大など、地域経済の活性化に資する重要な路線です。

このため、国においては早期の供用を目指し、より一層の事業推進をお願いします。

対応方針(原案)

- 事業継続

平面図



状況写真

写真①(現道の混雑状況)



写真②(現道の救急車の利用状況)

